

協会記事

理事会（平成 14 年度第 2 回）

平成 14 年 7 月 15 日（月）17:30 ~ 19:00, 当協会役員室において開催。出席：佐藤 久（会長）、佐藤 正（副会長）、田邊 裕（副会長）、井上英二、大島章一、嶋 吉彦、鶴見英策、長瀬和雄、西田耕一、野上道男、盛谷智之の各理事、大竹一彦、佐藤俊典の両監事および事務局。

・議事録の承認：平成 14 年度第 1 回理事会議事録は承認された。

・報告事項：

1. 編集委員会報告：大島理事（編集委員長）

111 巻 3 号は 150 ページで 6 月 25 日発行済み。

111 巻 4 号「特集：アジアの山岳氷河と山岳永久凍土（8 月末発行予定）は 12 編を校正中。150 ページくらいの見込み。5 号は通常号、6 号は特集号「人類の進化と新生代後期の環境変化（仮題）」で投稿待ち。投稿規定（執筆要領）のデジタル関連の改訂は検討中。来年（112 巻）の特集について検討中。

2. 行事委員長報告：野上理事

5 月 25 日に開催した委員会の内容およびその後の経過と今後の予定について報告があった。海外巡検「スイスアルプスを歩く」（平川委員案内）は 19 名の参加者を得て 18 日出発 25 日帰国の予定。次の海外巡検は白尾委員担当で「アメリカ西海岸」の企画を決定。「地学を楽しむ会」は松田磐余会員の案内で「船から新しい東京を見る」を計画中。公開講演会「東京のヒートアイランド問題（仮題）」を 9 月 28 日 13 時 ~ 16 時、都庁都民ホールで開催（議題その他において都立大学との共催を承認）。その他、今後の国内見学会や海外巡検の候補についても言及された。

3. 図書委員長報告：長瀬理事

8 月 30 日に図書委員会を開催し、その後にパソコンの報告などをした。

4. 広報委員長報告：盛谷理事

7 月 9 日に委員会を開催し、今後の活動について検討し、ホームページの維持更新、レンタ

ルサーバーによる試行、および編集図書両委員会によるホームページの利用などを行うこととした。そのうちドメイン取得は検討の結果 geog.or.jp の名前で行うことにした。

5. 日本地学史編纂委員会報告：井上理事

7 月 3 日開催の委員会についての報告があった。地学雑誌への投稿は予定より遅れたが来年の 1 号に掲載を目指すことになった。

6. 文部科学省公益法人実地検査報告：嶋 理事

6 月 13 日午前担当官 2 名による実地検査が行われた。その折のチェックリストなどが配布され、担当官のコメントや今後の対応についての報告とそれに対する理事間の意見の交換があった。

7. 庶務委員長報告：嶋 理事

総会、評議員会が無事終了したことの報告と謝辞の後、派遣職員交代、図書用パソコン等のリース開始および「伊能図に学ぶ」増刷の件が報告された。

8. その他：田邊理事から会館委員会を 23 日に開催するとの報告があった。

・議題：

1. 会員の入退会の承認

入 会：吉田 充、山田和芳、神成陽容、
加賀美雅弘 4 名
(株) 阪神コンサルタンツ
1 件（賛助会員）

退 会：高野史男、井関弘太郎 2 名（逝去）

2. 平成 14 年度助成対象の選考について

前回一部継続審議となった件につき、佐藤（正）選考委員長から改めて経過の説明があり、その結果委員会報告どおり研究調査助成金 7 件 320 万円、国際研究集会開催援助金 2 件、100 万円の交付が決定した。なお来年度に向け理事会で検討するべき事項が残った。

2002 年度助成金・援助金決定は下記のとおり。

・研究調査助成金

大藤 茂（富山大学理学部）「北部北上帯付加体の地体区分と広域対比」 50 万円

松山 洋（都立大学大学院理学研究科）「全天写真から得られる葉面積指数と衛星 LANDSAT に

よる推定値との比較」 40万円
 目代邦康(京都大学大学院理学研究科)「堆積岩山地と花崗岩山地における山体の重力変形による地形的特徴・地質構造の比較研究」 40万円
 飯島慈裕(都立大学大学院理学研究科)「中部山岳地域の気候環境の形成に果たす大気 陸面の熱・水循環過程」 50万円
 高野武男(新潟大学法学部)「中国内モンゴルの河套平原の砒素汚染症発生の原因に関わる地質・地形環境の研究」 50万円
 平野弘道(早稲田大学教育学部)「白亜系炭素同位体層序の確立を目指して 陸成層と海成層の対比」 50万円
 吉田圭一郎(国立環境研究所)「気候変動が島嶼生態系に及ぼす影響の評価に関する研究」 40万円

・国際研究集会開催援助金

大矢 暁(応用地質(株))「第6回物理探査学会国際シンポジウム」(東京) 主催:物理探査学会 50万円
 中村俊夫(名古屋大学年代測定総合研究センター)「第9回加速器質量分析国際会議」(名古屋大学) 主催:第9回加速器質量分析国際会議実行委員会 50万円
 合計助成金額 420万円

3. 夏季休館日について

例年どおり4日間(今年は8月13日(火)から16日(金)まで)を休館することに決めた。

4. その他

次回理事会,第2回評議員会並びに秋季講演会の日程等が決まった。

また協会創立125周年にあたる2004年に記念行事をするかどうかについて検討することになった。

理事会(平成14年度第3回)

平成14年10月1日(火)17:30~19:00,当協会役員室において開催。出席:佐藤 久(会長),田邊 裕(副会長),大島章一,嶋 吉彦,長瀬和雄,西田耕一,野上道男,盛谷智之の各理事,大竹一彦,佐藤俊典の両監事および事務局。

佐藤 正(副会長),鶴見英策(ともに委任状提出),井上英二の各理事は欠席。

・議事録の承認:平成14年度第2回理事会議事録は承認された。

・報告事項:

1. 編集委員会報告:大島理事(編集委員長)

111巻4号「特集:アジアの山岳氷河と山岳永久凍土」は8月末発行済み。136ページ。5号は通常号で校正中,180~190ページ(10月25日発行)。6号は特集号「人類の進化と新生代後期の環境変化(仮題)」で査読中。来年(112巻)の特集については2,3のテーマを検討中。国会図書館関西館から電子雑誌蒐集等にかかる許諾依頼がきている(議題として取り上げる)。

2. 会館委員長報告:田邊理事

7月23日に開催された委員会の内容の報告とその結果に基づいて工事が開始されたこと,および借入金の返済について言及があった。

3. 経理委員長報告:西田理事

監査法人からの申し入れを受けて今年度から中間期末決算を廃止する件について提議があった(議題として取り上げる)。

4. 行事委員長報告:野上理事

完了した行事およびこれからの予定行事について報告があった。海外巡検「スイスアルプスを歩く」(平川委員案内)は20名の参加者を得て無事完了,参加者からアンケートをとって聞いた結果高い評価が得られた。公開講演会「東京のヒートアイランド問題を考える」は予定通り開催され,200名を越す参加者があり,好評であった。秋季講演会,見学会の予定が報告された。今後の予定として,「地学を楽しむ会」案内者:松田磐余会員,海外巡検「アメリカ西海岸」案内者:白尾委員,海外巡検「天山山脈」「中国三峡ダム」などが検討され,このうち,「三峡ダム」については産総研加藤会員を案内者に委嘱,盛谷理事が補佐することに決まった。

5. 図書委員長報告:長瀬理事

8月30日に開催された図書委員会の報告があった。情報化事業の進捗状況等について討議され,インデックスキーワードの充実を図る方

策,CDのコピー,図書システムの効果的利用法などが今後の検討課題として挙げられた。

6. 広報委員長報告：盛谷理事

前回報告した内容に沿った作業が進行中であることが報告された。

7. 日本地学史編纂委員会報告：嶋 理事

井上理事に代わって嶋 理事から「原稿を10月中に編集委員会に提出する予定である」との報告があった。

8. 庶務委員長報告：嶋 理事

東ヶ崎氏に対する感謝状の贈呈,「地域学」シンポジウムに対し協賛する件,「伊能図に学ぶ」増刷のその後,および学術会議会員選出に関する件について報告された。

9. その他：田邊理事から会館の屋上防水工事の再補修が必要になり,現在実施中であることが報告された。

・議 題：

1. 会員の入退会の承認

入 会：久保田 充,平井 誠,中村洋介,
米澤 宏,神原 洋 5名
退 会：岩井淳一,遠藤 弘,渡辺暉夫
3名(逝去)

2. 研究連絡委員会の優先順位について

協会が参加する学術会議の研連(地質学,地
理学および地球物理学)の順位を,いままでど
おりこの順にすることに決めた。

3. 役員・評議員の選挙について

平成15年3月に行われる選挙に関し,「選挙
候補者推薦委員会」委員10名(鶴見理事を除く
理事)を決め,次に理事の定数を現在より1名
減の10名に,評議員の定数も同様20名にす
ることに決めた。選挙期日は例年どおり3月末日
締め切りとする。

4. その他

11月に開催される評議員会の議題を「地学協
会情報化に係る諸問題について(仮題)」とし,
編集,図書および広報の3委員長が協議して正
式に決定することにした。

5. 第2回評議員会について

国会図書館関西館からの前記の要請に対して
は,著作権の所在を明記することを条件に承諾
することとした。

中間期末決算を廃止する件は異論なく承認さ
れた。

富士山学会発起人に佐藤会長が名前を連ねる
ことが了承された。

評議員会(平成14年度第2回)

平成14年11月9日(土)13:00~13:50,
当協会会議室において開催。

出席者：笠原順三,小玉喜三郎,下鶴大輔,下
山俊夫,鈴木弘道,高村弘毅,藤井昭二,水野篤行,
森 啓の各評議員,計9名,委任状提出者10名,
計19名により定足数15名の本会は成立した。ほ
かに佐藤会長以下9名の理事と,監事1名計10名
が出席した。

佐藤会長の開会宣言に続き,議長に高村弘毅評
議員が選出され,また,議事録署名人に小玉喜三
郎,下鶴大輔両評議員が指名された。

議 事：

- (1)平成15年度役員・評議員選挙の日程について
嶋 理事より説明があり,承認された。
- (2)東京地学協会の情報化(IT化)に関する動向
について,大島理事より報告があり,これにつ
いて活発な討論がなされた。
- (3)今年度より決算を年1回にし,中間決算は実
施しない事に決めた旨嶋 理事より報告があり,
了承された。

以上で議事を終り議長は閉会を宣言した。